

辺野古新基地建設ストップ！沖縄県知事選挙勝利！

革新懇

沖縄連帯高知集会に参加しました！

9/13、高知市にある高知県立大学で、革新懇主催による「沖縄と連帯する四国・高知のつどい」が開催され香川民医連・香川医療生協からは2名、香川からは43名が参加しました。

高知県立大学の会場は約300名の参加者で一杯。日本共産党の赤嶺政賢衆議院が弁士の予定でしたが、11/16に投票が行われる沖縄知事選挙に立候補を決意した那覇市長の翁長雄志さんの立候補表明の記者会見に同席するために来られなくなりました。代わりに沖縄革新懇代表世話人の仲山忠志さんが訴え、県知事が変われば現知事がだした埋め立て許可を取り消すことができることなどを法律家の立場から明らかにしてくれました。



寄せ書きを沖縄に託す香川参からの加者



仲山沖縄革新懇代表世話人の訴え

続いて訴えた前沖縄県議会議長で、元沖縄自民党県連幹事長の仲里利信さんは、集団自決の記述を歴史教科書から削除する事に抗議した2007年9月の11万6000人が集まった県民大会の実行委員長だったこと、政治家は公約がすべてであり公約を破った県知事はやめるべきと述べました。また基地の経済効果は1900億円、県が試算した基地がなくなった場合の経済効果は1兆7000億円であり、基地が沖縄の経済成長を阻害していることを明らかにしました。

基地があることに百害あって一利なし、同じ日本で起きていることを私たちの問題として捉えることができたバスツアーでした。(県連事務局 森治樹)

リレー



投稿

いつでも憲法

県連理事に続いて各事業所の管理者・職場長の方々に、憲法に対する想いをリレーで投稿してもらいます。

安倍内閣は、国民の声に耳を傾けず強引に憲法解釈を変え日本を戦争できる国にしようとしている。集団的自衛権は、表向き自国が攻撃されたとき反撃できるためと奇麗ごとを国民に向けて言っているが、反撃を始めた瞬間から自衛隊は軍隊となり戦争を仕掛ける国になってしまう。一度出した牙は引っ込めることはできなくなる。如何なる理由であっても一度でも人間が人間を殺してしまえば自衛隊員は殺人兵器となってしまう。命令とはいえ人間の命を奪ったという罪の意識は薄れることなく一生苦しめられ自殺する者や人格崩壊する者も多いと聞く。そして本人だけでなく家族も不幸にしてしまう。もし自分の子供や親類が今の自衛隊に入りたいといったなら絶対行かせない。戦後、もう絶対戦争はしないと誓い日本国憲法を大事に守ってきた先人達の信念を私たちが壊してしまうことは決してあってはならないことである。世界から素晴らしいと絶賛される日本国憲法を、今を生きる私たちが力を合わせて守り抜くことが日本の未来を守っていくことである。

戦争を体験した人々は高齢となり語り継ぐことが難しくなっている。戦争中そして戦後の悲惨さを忘れた時、また戦争が起これ、悲劇が繰り返される。平和は当たり前でなく自国を愛する一人ひとりの想いと憲法で保たれている。その根幹には憲法9条がある。安倍内閣が身勝手な解釈をしても国民の多くは反対している。民主主義というのであれば国民の声に耳を傾け判断すべきである。独裁者安倍内閣、早く目を覚まして正しい選択を。憲法改悪絶対反対！！集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を！！

高松協同病院リハケア部副部長 長尾百合子